

## 東桜コンピテンシー「①ビジョン」について ～その5～

### ①「ビジョン」

数年～数十年単位の中長期的な目標として、望ましい社会や理想とする自分の姿を思い描く力。

2019年に日本でよく読まれた本の一つに「FACT FULNESS（ファクトフルネス）」（ハンス・ロスリング他著、日経 BP 社）があります。この本では、冒頭部分に13の質問が登場します。

質問1 現在、低所得国に暮らす女子の何割が、初等教育を修了するでしょう？

A：20% B：40% C：60%

質問2 世界で最も多くの人に住んでいるのはどこでしょう？

A：低所得国 B：中所得国 C：高所得国

質問3 世界の人口のうち、極度の貧困にある人の割合は、過去20年でどう変わったでしょう？

A：約2倍になった B：あまり変わっていない C：約半分になった

質問4 世界の平均寿命は現在およそ何歳でしょう？

A：50歳 B：60歳 C：70歳

質問5 15歳未満の子供は、現在世界に約20億人います。国連の予測によると、2100年に子供の数は約何人になるでしょう？

A：40億人 B：30億人 C：20億人

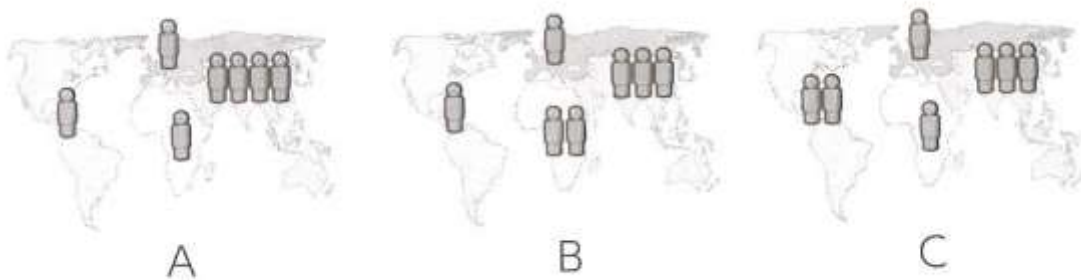
質問6 国連の予測によると、2100年には今より人口が40億人増えるとされています。人口が増える最も大きな理由は何でしょう？

A：子供(15歳未満)が増えるから  
B：大人(15歳から74歳)が増えるから  
C：後期高齢者(75歳以上)が増えるから

質問7 自然災害で毎年亡くなる人の数は、過去100年でどう変化したでしょう？

A：2倍以上になった B：あまり変わっていない  
C：半分以下になった

質問8 現在、世界には約70億人の人がいます。下の地図では、人の印がそれぞれ10億人を表しています。世界の人口分布を正しく表しているのは3つのうちどれでしょう？



質問9 世界中の1歳児の中で、なんらかの病気に対して予防接種を受けている子供はどのくらいいるでしょう？

A : 20%    B : 50%    C : 80%

質問10 世界中の30歳男性は、平均10年間の学校教育を受けています。同じ年の女性は何年間学校教育を受けているでしょう？

A : 9年    B : 6年    C : 3年

質問11 1996年には、トラとジャイアントパンダとクロサイはいずれも絶滅危惧種として指定されていました。この3つのうち、当時よりも絶滅の危機に瀕している動物はいくつでしょう？

A : 2つ    B : 1つ    C : ゼロ

質問12 いくらかでも電気が使える人は、世界にどのくらいいるでしょう？

A : 20%    B : 50%    C : 80%

質問13 グローバルな気候の専門家は、これからの100年で、地球の平均気温はどうなると考えているでしょう？

A : 暖かくなる    B : 変わらない    C : 寒くなる

正解は、次のとおりです。

1C 2B 3C 4C 5C 6B 7C 8A 9C 10A 11C 12C 13A

さて、何問正解できたでしょうか。あまり当たらなかったとしても不思議ではありません。著者であるハンスさんも多くの人に質問しましたが、正解率は芳しいものではありませんでした。例えば、質問1の正解率はわずかに7%。3択の質問ですから適当に答えても正解率は33%になるはずです。つまり、私たちは誤った思い込みで物事を見ていることがわかります。

大切なことは、誤った思い込みを排除し、データを基に世界を正しく見る習慣をつけることです。

(引用・参考文献)

「FACT FULNESS」(ハンス・ロスリング他著、日経BP社)

令和2年(2020年)3月